

東日本大震災の復興支援への取組み状況の報告

報告日：2011 年 6 月 3 日

支部・部会・実行委員会・登録グループ名

北海道支部

責任者名 / 報告者名

支部長：齊藤有司 / 事務局長：森隆広

取組みの状況（検討状況、予定等含む）2,000 字以内

【東日本大震災を教訓とした北海道支部の取組みについて】

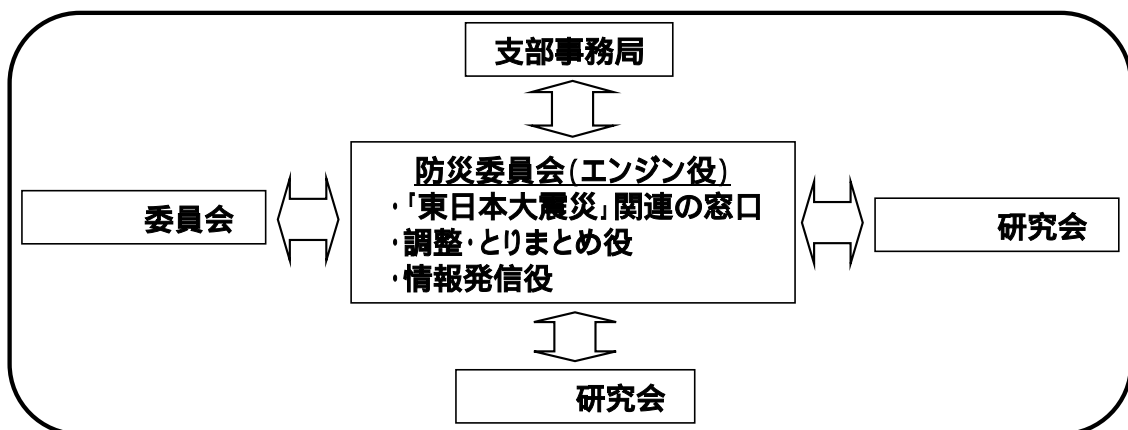
平成 23 年度の活動においては、東日本大震災がもたらしたものを抜きには語れないことから、支部防災委員会がエンジン役となって、震災を教訓として活用する諸活動を行う。

東日本大震災による被災地に対して北海道支部として何が出来るかを検討した結果、北海道支部単体では、被災地の復旧・復興支援に関する取組は困難であると判断した。

一方、東日本大震災では北海道でも多くの沿岸部で被害が発生した。そこで、今回の震災がもたらしたものを収集・分析し、次に備えるための教訓として整理して残していくことにする。

1. 北海道支部全体の事業テーマとして、東日本大震災を教訓とした北海道の防災について取り組む。
 - ・支部内の各委員会・各研究会との連携・調整。
 - ・情報収集及び調査研究の推進。
2. 防災・減災に向けた社会貢献を目指す。
 - ・講演会・セミナー（技術者向け・一般市民向け）の開催。（支部内各委員会等連携）
 - ・道内自治体への提言サポート。
 - ・市民向けの分かり易い情報の提供。
3. エンジン役を防災委員会とする。

【活動体制（案）】



【活動内容(案)】・・・各委員会・研究会の自主性を尊重

《情報収集及び調査研究》

- ・「東日本大震災」の全体像の把握と主要な課題の抽出。
- ・防災・減災対策の新たな方向性の整理。
- ・技術士からの提言-道内向け-。
(同程度の津波が来たら～被災程度は？影響範囲・程度は？必要な対応・備えは？・・・)
- ・地域防災計画(道内)の見直しの提案。

《情報発信》

- ・各種防災関連の講演会・セミナーの開催。
- ・市民向けの分かり易い情報の提供。
- ・年度末に、活動報告をとりまとめ(防災委員会)。

以上